

2026年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 心理学講座 (一般入試・外国人留学生入試)	氏名									
「心理学基礎」 問題用紙・解答用紙 (2 / 2)	受験番号									採点

問2 不安への介入プログラムを行った研究に関する以下の記述を読み、各問いに答えなさい。

介入プログラムの効果を検証するためには、介入前後の不安を測定する必要がある。そこで、まずは(1)不安を測定するための新たな尺度を作成した。次に、介入前の不安を測定するために、研究への参加に同意した 500 名を対象に、新たな不安尺度への回答を求めた。(2)そのうち、不安得点が高かった上位 20%の人たちを対象に介入プログラムを実施したところ、不安得点の平均値は介入前よりも介入後において統計的に有意に低いことが示された。

1. 下線部(1)について、この尺度の信頼性を検証するために、どのような方法があるか、考えられる方法を2つ説明しなさい。

2. 下線部(2)について、この結果は、介入プログラムの効果以外にどのような理由によって生じた可能性があるか、考えられる理由を2つ説明しなさい。



2026年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 心理学講座 (一般入試・外国人留学生入試)	氏名									
「心理学専門」 問題用紙 (1 / 1)	受験番号									採点

問 以下の4問のうち、2問を選択して解答しなさい。解答は、別紙の解答用紙(「心理学専門」 解答用紙1/2と2/2)にそれぞれ書きなさい。解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入しなさい。

1. 問題解決に及ぼす過去経験の影響について、促進的な側面と妨害的な側面に分けて説明しなさい。
2. 災害時に発生するパニックについて、その発生条件も含め社会心理学的に説明しなさい。
3. 発達心理学における横断的研究と縦断的研究について、それぞれの長所と短所を含めて説明しなさい。
4. クライエントの状態を理解するための枠組みである「生物心理社会モデル」に関して、その3つの要因の具体的な内容を述べたうえで、この枠組みが有用とされる理由について説明しなさい。

